皆さんのご協力のお蔭で緊急事態宣言解除！

沖縄フォーラム主催のオンライン青年弁論大会で審査委員長を務める

新型コロナ感染症による長い自粛生活、学校の休校は、ひとまず緊急事態宣言の解除を受けて緩和されましたね。

これも、皆さんのご協力のお蔭です。

ブラジルのように、経済活動を休まず強行していたら、感染者の数はやはり伸びていたでしょうね。

とは言っても、北九州市ではクラスターが再び発生したり、東京都も感染者数が増加傾向になったので、再び注意喚起を呼びかける「東京アラート」が発令され、まだまだ十分な手洗いや消毒、マスク着用など注意は必要だと思いますよ。

埼玉県もステップを踏みながら、休業自粛や学校授業の再開を徐々に進めておりますが、一日も早く日常に戻れる事を祈るばかりですね。

自粛生活で変わった価値観・スタイルを生かしながら日常を取り戻そう

価値観や生活の見直しを！

さて、今回の新型コロナ騒動では、感染された方には心よりお見舞いを申し上げると共に、自粛生活で生活様式がリセットされたので、色々と気づかされました。

ようやく、いわゆる「アベノマスク」が届いていますけど、マスクはしばらくの間全くお店から消えちゃいましたね。

マスクは中国の輸入に頼り、生産拠点もあちらにあったので、当初中国の武漢市から新型コロナウィルスが広がれば、当然中国はマスクを輸出しなくなっちゃう訳ですよ。

その分だけ、私達も一向にマスクを購入出来ない状況に苦しみましたよね。

その他にも、世界中で流行したので、事実上の鎖国状態となって、外国に生産拠点を移していた企業とその下請さん達は、大きな痛手を受ける事になりました。

やはり、過剰にグローバル化が叫ばれて、海外に生産拠点を移し過ぎましたね。

サプライチェーンと呼ばれる、製品の原材料・部品の調達から、製造、在庫管理、配送、販売、消費までの全体の一連の流れを、出来るだけ国内に戻さないと、今回のような感染症の流行が世界で再び起これば、また大変な事になりますから。

それと、人と人との接触を避けるために、在宅での仕事やオンライン会議なども一気に増えましたよ。

やってみると、パソコンや携帯があれば以外と簡単に会議が出来、わざわざ皆で通勤時間をかけて同じ場所に集まらなくとも、結構大丈夫だったという事に気が付きましたね。

一方で、我が国は世界第三位の先進国だと思っていたら、教育の場ではICT教育の環境整備が非常に遅れていて、埼玉県でも、結局休校中にまともなオンライン授業はほとんど出来ない状況でした。

後進国ぶりをさらしてしまいましたね。

我々の会派も、再三教育環境の整備を要望をしましたが、結局予算確保がままならず、この休校中にはオンライン授業などは上手く機能しなかったんですよ。

でも、この度の国の第二次補正予算で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金も新たに二兆円ついたので、今後はICT教育予算を確保して、実際の授業と併用し、補習にも活用するなど、早急に体制整備を進めたいと思ってます。

その他にも、沢山コロナで考え方や価値観、生活様式も変わったので、皆さんと共に心の余裕を持って、元気な日常を取り戻したいですね。

やわらかまじめか新聞

第112号

発行者
無所属県民会議
県議会議員鈴木正人
〒353-0002
志木市中宗岡1-1-2
TEL048-476-7525
FAX048-476-7526

北朝鮮による拉致被害者家族会 初代代表
横田滋さんのご冥福をお祈り申し上げます。
県民・国民を上げて拉致問題の解決を！

居酒屋ミーティング（少人数）・オンライン飲み会やります！
鈴木正人と居酒屋やオンラインを通じて
一杯やりながら政治を語りたい方はご連絡ください。
申し込み先は TEL 048-476-7525 suzukisec@gmail.com まで

県民の皆様へのお願い

東京への不要不急な外出は自粛してください。
特に**東京の夜の繁華街**へは行かないでください。

多人数の会食は避けてください。

換気が悪い「密閉」、人が集まる「密集」、
近くで会話する「密接」が揃う**「3つの密」**を避けてください。

マスクの着用、手洗い、**手指の消毒**など
感染予防の徹底をお願いします。

県政レポート2020 No.112　ご意見・ご要望はこちら↓
埼玉県議会議員　無所属県民会議　E:mail suzukisec@gmail.com

鈴木正人

ホームページ　http://www.trans.ne.jp/masato/

緊急事態宣言解除！新たな生活様式へ

新型コロナ発生後や緊急事態宣言後も出来る限りの範囲で活動を行う

緊急事態宣言も解除され、埼玉県でも「新しい生活様式」に変わりながら、様々な業種の休業要請も徐々に解除され、日常生活に戻りつつあります。

しかしながら、福岡県北九州市やお隣りの東京都でも緊急事態宣言解除後に、新型コロナウィルス感染者が増加するなど、まだまだ予断を許さない状況も続いております。

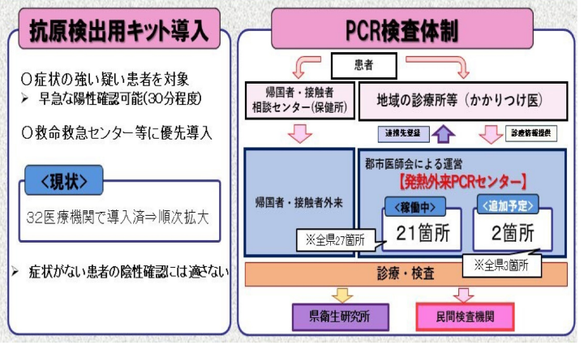
今まで同様、十分に手洗い消毒などに心掛けて気を付けながら、新しい形で日常生活を取り戻して参りましょう。

新型コロナ対策について複数回 要望書等を提出

▼2月4日　会派として、「新型コロナウイルスによる肺炎への対策を求める緊急要請」を知事に提出。
▼3月4日　国からの一斉休校要請を受け、会派に所属する議員が地元からいただいたご意見をまとめ、知事と教育長に「県民の声」として提出。
▼3月27日　会派として起草にも関わった「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急対策を求める意見書」を他の会派と共同提案し可決。国に提出。
▼4月6日　県立学校の休校期間延長や医療体制の強化など、県民の皆様から頂いた意見について会派で議論を重ね、「県民の声」として知事に提出。
▼4月13日　会派から議会を通して対策本部に要望事項を提出。
▼4月28日　埼玉台湾総会から県へ5000枚のサージカルマスク寄付する活動に日台友好議連副会長として同席。
▼4月30日　会派から議会を通して対策本部に要望事項を提出。
▼5月20日　副知事他県の執行部と意見交換会。終了後、会派から議会を通して対策本部に要望事項を提出。

縮小期から再拡大時を見据えた病床等の確保

○新規陽性患者の発生状況や病床利用率に応じて、3つのフェーズごとに必要な病床数等を設定

フェーズ 確保数		602床 （現状）	フェーズⅠ （縮小期）	フェーズⅡ （再拡大期）	フェーズⅢ （国ピーク予測）
病床数		602	240	420/600	2,400
内訳	超重症・重症	60	60	60	400
	中等症	329	135	270/400	1,500
	軽症	213	45	90/140	500
ホテル		1,000	500	1,000	10,000

検査体制の強化